

## CONTENTS

新館 5 年のあゆみ .....	2・3
洋学資料館の夏休み教室開催！ .....	4
企画展 未公開資料を中心とした 資料・モノ・がたり .....	5
友の会のページ 研修バス旅行報告 .....	6
NEWS FILE .....	7
INFORMATION（催し物のご案内） .....	8

# 洋学 資料館

No. 14  
September, 2014

旧古吉野小学校の裏手を登りつめた丘陵に、蘭漢折衷派の  
医師原村元貞の眠る原村家墓所があります。

元貞は幼くして江戸に上り、箕作阮甫や大槻俊斎のもとで  
蘭学や小児科を修め、帰郷後はひたすら村人のために、種  
痘の普及や地域の教育に努めました。石生の山里を見下ろ  
す墓所には、三面に墓碑銘が刻まれ、その偉業を今に伝え  
ているのです。（勝田郡勝央町石生）



津山洋学資料館  
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

# 洋学資料館

## 新館5年のあゆみ

昭和53年に開館した洋学資料館が、平成22年3月19日に新館へ移転・オープンしてから、本年で5年目を迎えます。たくさんの方の応援に支えられながら迎えたこの佳節、5年間のあゆみを振り返ります。



▲開館式テープカット  
◀シーボルトハウスと友好提携を締結



### 平成21年度

- 3・19 開館式  
オランダ・シーボルトハウスとの友好提携締結調印式
- 「工芸にみる江戸の阿蘭陀趣味」  
新館開館記念企画展  
神戸市立博物館所蔵名品選
- 3・28 新館開館記念講演会  
「盆地の知性は世界へ」  
印刷博物館館長 樺山紘一先生

### 平成22年度

- 4・11 第63回文化講演会・友の会総会  
「江戸の阿蘭陀趣味」  
洋学の興隆と西洋趣味の絵画と工芸  
神戸市立博物館主幹・学芸員 岡泰正先生
- 4・25 企画展「地域に生きて」  
蘭方を学んだ医師たちのくらし
- 5・30 第30回友の会研修バス旅行  
「京都・宇治を訪ねて」
- 6・31 機関誌「洋学資料館」創刊  
親子でヒンデローペンの作品づくり  
ヒンデローペン絵付け体験教室
- 8・17 江戸時代の化学書からの再現実験  
企画展「日本が描いた異国」  
印刷博物館企画協力
- 10・9 国民文化祭 洋学シンポジウム  
「江戸時代の国際文化交流」  
洋学・異国人・異国船
- 11・6 新館建物「JIAA中国建築大賞」受賞  
第23回友の会史跡見学会  
「仁木永祐先生の足跡を訪ねて」  
生誕180年記念企画展  
「美作の板垣退助と呼ばれた医師 仁木永祐」  
洋学史学会津山大会開催
- 11・28 第64回文化講演会  
「ブランド・ハンターの活躍」  
日本からヨーロッパに運び出された植物  
獨協大学教授 加藤億重先生

### 平成23年度

- 4・2 企画展「彩生・オランダ伝統の技と美」  
スタッフホスト絵付け体験講座「春桜」
- 4・23 第65回文化講演会・友の会総会  
「私を魅了した、オランダ伝統工芸」  
Kinko Hinderloperen スタジオ主宰 永江絹子先生
- 5・28 友の会創立30周年記念研修バス旅行  
「中九州の洋学史跡を訪ねて」
- 6・11 企画展「資料が秘めた物語」
- 7・31 親子でヒンデローペンの作品づくり  
ヒンデローペン絵付け体験教室
- 8・4 江戸時代の化学書からの再現実験  
研究報告会  
「一枚の油彩画が語り始めた」  
箕作秋坪肖像画に秘められた謎を探る
- 8・27 企画展「蚕書和解御用と津山藩の洋学者」  
薬草・ハーブの説明会  
ハーバルツヤマ代表 矢北貞夫先生
- 10・23 洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム  
「江戸時代の北方問題と洋学」  
東北大学東北アジア研究センター教授 平川新先生
- 11・13 友の会創立30周年記念講演会・レセプション  
明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授 岩下哲典先生
- 11・19 企画展  
「幕末維新を駆け抜けた女医 光後玉江」
- 11・20 第24回友の会史跡見学会  
「錦織・里公文・久世の洋学史跡を訪ねて」
- 12・10 日本英学史学会 中国四国支部津山研究例会  
第66回文化講演会  
「江戸時代の医学と津山」  
佐賀大学地域学歴史文化研究センター副センター長 佐賀大学大学院医学系研究科教授 青木歳幸先生

### 平成24年度

- 4・21 企画展「万病に挑む」  
在村医たちの足跡を追って
- 4・22 第67回文化講演会・友の会総会  
「津山と静岡をよす 維新後の旧幕臣」  
国立歴史民俗博物館総合研究大学院大学教授 樋口雄彦先生
- 6・10 第32回友の会研修バス旅行  
「大和路の葉めぐり旅」  
薬草説明会 かに薬局薬剤師 可児敬志先生
- 7・14 企画展「地図で世界を旅しよう!!」  
親子でヒンデローペンの作品づくり  
ヒンデローペン絵付け体験教室
- 8・2 江戸時代の化学書からの再現実験教室
- 10・6 企画展「植物に魅せられた二人」  
シーボルトと牧野富太郎の植物標本
- 10・21 第25回友の会史跡見学会  
「鏡野・奥津の史跡を訪ねて」
- 12・8 企画展「良薬口に苦しくすりとのあゆみ」  
洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム  
江戸時代作州人の生き方と学問  
東京大学大学院情報学環・東京大学史料編纂所教授 山本博文先生
- 12・16 洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム  
「江戸時代作州人の生き方と学問」  
明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授 岩下哲典先生
- 1・27 オムニバス講演会  
「江戸のマルチ学者 ふしぎ? 不思議? な宇田川榕菴さんの世界」

### 平成25年度

- 4・20 生誕180年記念企画展  
「岸田吟香 くわがふるさととは」
- 4・21 第68回文化講演会・友の会総会  
「非常に生きた本草学者・平賀源内」  
法政大学通信教育講師 土井康弘先生



▲上：夏休み教室  
下：上廣歴史文化フォーラム

### 平成26年度

- 6・8 第33回友の会研修バス旅行  
「洪庵の足跡を訪ねて」
- 7・6 企画展「解体新書と美作の洋学者たち」  
親子でヒンデローペンの作品づくり  
ヒンデローペン絵付け体験教室
- 7・28 江戸時代の化学書からの再現実験教室
- 8・1 企画展「よみがえる長崎出島のくらし」
- 10・12 企画展「くらしと実学・在村知識人の活動」  
第26回友の会史跡見学会  
「津山に残る和算家の足跡を訪ねて」
- 11・30 洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム  
「美作の人 岸田吟香の情報・経営学」  
明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授 岩下哲典先生
- 12・14 洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム  
「美作の人 岸田吟香の情報・経営学」  
明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部教授 岩下哲典先生
- 12・14 オムニバス講演会  
「箕作阮甫、長崎へ行く」  
「算術入門」  
津山市立図書館長 大倉淳一先生
- 12・26 冬季企画展関連講演会  
「花、開く、榕菴の植物研究」
- 3・23 企画展「花、開く、榕菴の植物研究」

### 新館開館五周年を迎えて

館長 小坂田裕造

レンガ造りと木造の外観を持つ特長的な建物も、今では出雲往来の町並みの中にすっかり溶け込んでいます。新館開館以降、入館者は倍増し、市内の小学6年生全員が先人の業績を学ぶ事業も始まりました。また資料の寄贈・寄託も大幅に増え、収蔵資料は1万点に迫る状況です。

これまでご支援・ご協力をいただいた市民の皆様や友の会会員に感謝を申し上げますとともに、今後も「津山洋学」の研究と全国への発信を進めながら、魅力ある資料館づくりに努めてまいります。



洋学資料館の夏休み教室開催！

夏本番を迎え、今年も恒例の夏休み教室を開催しました！  
今年にはヒンデローペンの絵付け体験教室を2日に分け、7月26日(土)に親子でペン立てを、27日(日)には一般の方が3つのコースに分かれて傘やウェルカムプレート、ティッシュボックスを作成しました。講師の永江絹子先生に丁寧なご指導をいただきながら、皆さん素敵なオリジナル作品を仕上げてくださいました。

8月2日(土)の「江戸時代の化学書からの再現実験教室」は、昨年引き続き今年も多数の応募をいただき、午前・午後の2回の開催となりました。「舎密開宗<sup>セイミカイシュウ</sup>」の記述から、津山高校の貴志貫先生と科学部の皆さんのご指導で「ふしぎなインキ 榕菴先生の化学マジック」、津山高専の佐藤誠先生、廣木一亮先生のご指導で「スミレの色は何の色？ 榕菴先生、酸・アルカリと出会う」の2つの実験を実施しました。参加した子供たちは、現れたり消えたりする絵や、青や赤や黄色に変化する液体に目を見張り、興味深そうに見入っていました。



▲親子で協力して作成する様子が印象的でした。



▲半日コースでは傘(午前)とプレート(午後)、一日コースではティッシュボックスに挑戦！



▲紫キャベツの色素で酸・アルカリの区別をするという実験を行いました。  
乾燥すると発色する薬品の性質を利用して、ドライヤーで温めると現われ、息を吹きかけると消える不思議な絵を描きました。



現在、洋学資料館では約1万点の資料を所蔵・保管しています。ところが、これらのすべてを展示することは不可能で、多くのモノは収蔵庫で出番を待っているというのが現状です。今回の企画展「資料・モノ・がたり」は、これらの未公開資料を皆さんにご覧いただきたいという思いのもとに、企画・展示しました。そのため、統一的なテーマではなく、七つの小さなテーマで構成しました。

「阮甫と東海道」というテーマでは、眞作阮甫が対ロシア交渉のため赴いた長崎から江戸にもどる旅の最後の1週間をクローズアップ。東海道の宿場を描いた浮世絵と、阮甫の日記「西征紀行」の記事を展示し、旅の足跡をたどりました。

「西洋へのがれ」では、江戸の人々を魅了した舶来品を描いた浮世絵や、開国後に日本へやってきた西洋人の姿を描いた横浜絵を展示しました。

また、「絵画に見る「西洋」の移入」では、西洋画の技法を取り入れた浮世絵を展示。西洋文化の伝来に従い、浮世絵にも遠近法や写生など、西洋の描画手法が取り入れられ、遠近感を強調した「目がね絵」や精密な写生を基にした作品がみられるようになったことをご紹介します。

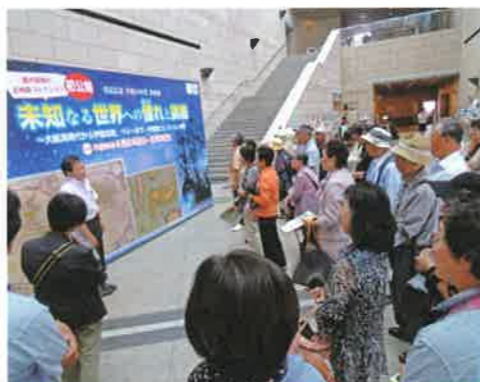
そのほか、「洋学者の手蹟」では、宇田川玄随と眞作阮甫の書軸を展示しました。彼ら洋学者は西洋科学の研究・紹介に努めたため、西洋的なことばかりをしていたような印象があります。ところが、江戸時代の洋学者たちは、洋学研究を始める前に、漢学の修行を必須としていました。宇田川榕菴が自分の手記で、若いころ漢学の修行をおさなりにしていたことを後悔した話は有名です。そのような観点から、洋学者たちの手蹟をご覧いただきました。

今回の企画展は、展示資料の半数近くを各種浮世絵が占めるという、いつもとは少し様相の異なった展示となりましたが、見学された方の多くが、楽しみに展示品を眺めておられたのが印象的でした。

# 第34回友の会研修バス旅行 日米和親条約締結160年 老中阿部正弘ゆかりの福山めぐり旅

6月8日(日)、友の会の研修バス旅行を実施しました。今回は、日米和親条約が結ばれて今年で160年を迎えるのに合わせ、条約締結に踏み切った老中・阿部正弘の国元である福山をめぐる旅です。最初に訪ねたのは阿部家の居城であった福山城です。天守閣を復元した福山城博物館では、学芸員の皿海弘樹さんのご説明で、阿部家の歴史をじっくり学びました。

次に、福山城公園内にある正弘の銅像を見学しながら、徒歩で広島県立歴史博物館へ。ここでは特別展「未知なる世界への憧れと挑戦〜大航海時代から伊能忠敬、ペリーまで〜」を、学芸員の西村直城さんにご案内いただきました。ペリー来航時の正



▲広島県立歴史博物館



▲鞆の浦 対潮楼で説明を聞きました



▲鞆の浦 昼食は名物の鯛茶漬け



▲福山城の前で記念撮影

▲福山城公園内にある阿部正弘銅像



弘の対応について、最近の研 究動向も交えてお話しいただき、皆さん熱心に聞き入っていました。それからバスで移動し、午後からは鞆の浦を散策しました。鞆の浦は朝鮮通信使の寄港地として有名ですが、江戸参府中のオランダ商館長たちも立ち寄っています。当日は雨が心配されていましたが、一転して日傘が必要なほどの晴天に。汗を拭きながらガイドさんのご案内で対潮楼や保命酒の蔵元だった太田家などをめぐり、帰りのバスは心地よい疲労感と充実感に包まれていました。最後にになりましたが、各見学地でお世話になった皆さまに御礼申し上げます。

## NEWS FILE

### 資料館で中学生が職場体験活動を実施

津山東中学校2年生の小林幸太郎君、中村祐二朗君、福廣竜矢君、光岡龍輝君、山本桃子さんが、「つやまっ子・デビュー14」で、職場体験活動を行いました。

3日間の日程で、初日の6月11日(水)には館内の見学や展示解説の練習、そして2日目には常設展示室榕菴コーナーの展示解説に挑戦してもらいました。当日は津山工業高校1年生80名の皆さんが来館し、中学生5名が緊張した面持ちで和蘭カルタや壁の絵について

て説明をすると、高校生たちから温かい拍手が贈られていました。午後からは算作家墓所の清掃を行い、墓所はすっきりとした様子になりました。

最終日には史料に実際に手を触れての修繕作業も体験してもらい、活動後には、「難しかったけど楽しかった」「資料館ではどのような仕事をするのか分かった」「学んだことを将来に生かしていきたい」などの嬉しい感想を寄せられました。



▲算作家墓所(津山市林田)の清掃



### 資料館で博物館実習実施

8月16日(土)から22日(金)まで、高知大学の居森風香さんが実習を行いました。掛軸などの史料の取り扱い方や写真撮影の方法、和書の修繕の実習をはじめ、教育普及活動の一環として展示解説にも取り組んでもらいました。

また、「宇田川榕菴をテーマとした当館スポット展示の企画」を課題として考えてもらい、6日間という短い期間でしたが、一生懸命文献や史料を調べ、面白い企画を考えてくれました。



### 津山市教育委員会 新採用教職員研修

8月20日(水)、津山市教育委員会新採用の小・中学校の先生方が、研修で来館されました。

最初にGENPOホールで乾次長が「津山洋学のおゆみ」と題した講演を行い、続いて展示の見学をしていただきました。

現在資料館には、GENPOプロジェクトで市内の小学校(6年生)が全校来館しています。今回研修に参加された先生方も、将来また引率として来てくださることもあるのではないのでしょうか。子供たちが特に興味を持つ資料などをご説明すると、皆さんとても熱心に耳を傾けておられました。

# INFORMATION

平成26年度の催し物(予定)

企画展

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展「花、開くー榕菴の植物研究ー」</li> <li>19 第69回文化講演会 講師：天理大学准教授 小暮実徳 先生</li> <li>19 友の会総会 (休館日：21・28・30日)</li> </ul>	3/23～ 花、開くー榕菴の植物研究ー ～5/22
5月	(休館日：7・8・12・19・26日)	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>8 友の会研修バス旅行 (休館日：2・9・16・23・30日)</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展「資料・モノ・がたり」</li> <li>26 親子でヒンデローペンの作品づくり</li> <li>27 ヒンデローペン 絵付け体験教室 (休館日：7・14・22・23・28日)</li> </ul>	7/5～ 資料・モノ・がたり ～9/28
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 江戸時代の化学書からの再現実験教室 (休館日：4・11・18・25日)</li> </ul>	
9月	(休館日：1・8・16・17・22・24・29日)	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展「新館開館5周年記念 平戸松浦家伝来の至宝」</li> <li>11 津山洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム「江戸幕府が選んだ“鎖国”政策 - 平戸松浦家史料の魅力 -」 山本博文先生・岩下哲典先生 (休館日：6・14・15・20・27日)</li> </ul>	10/11～ 新館開館5周年記念 平戸松浦家伝来の至宝 ～11/9
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展「生誕190周年記念 箕作秋坪」</li> <li>友の会史跡見学会 (休館日：4・5・10・17・25・26日)</li> </ul>	11/22～ 生誕190周年記念 箕作秋坪 ～3月中旬
12月	(休館日：1・8・15・22・24・29～31日)	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>学芸員による研究報告会 (休館日：1～3・5・13・14・19・26日)</li> </ul>	
2月	(休館日：2・9・12・16・23日)	
3月	(休館日：2・9・16・23・24・30日)	

■企画展 ■催し物 ■講演会 ■友の会



津山洋学資料館・上廣歴史文化フォーラム  
「江戸幕府が選んだ“鎖国”政策 - 平戸松浦家史料の魅力 -」

日時：平成26年10月11日(土)13:30～  
会場：津山洋学資料館 GENPO ホール  
基調講演：東京大学教授 山本博文 先生  
対 談：東京大学教授 山本博文 先生  
明海大学教授 岩下哲典 先生

— 休館日変更のお知らせ —  
年末年始の休館日が変更になりました。  
(旧) 12月27日～1月4日  
↓  
(新) 12月29日～1月3日

## ご利用案内

- 開館時間／9：00～17：00  
(入館は16：30まで)
- 休 館 日／月曜日(祝祭日の場合はその翌日)  
祝祭日の翌日・年末年始(12月29日～1月3日)
- 入 館 料／

一 般	高校生・大学生
300円 (240円)	200円 (160円)

※( )内は30名以上の団体料金です。  
※小学生・中学生は無料です。

 **津山洋学資料館**  
TSUYAMA ARCHIVES OF WESTERN LEARNING

〒708-0833 岡山県津山市西新町5番地  
TEL(0868)23-3324 FAX(0868)23-9864  
URL <http://www.tsuyama-yougaku.jp>



## ●交通のご案内

- ・JR津山駅から東循環ごんごバス南廻り線で12分、西新町下車徒歩2分
- ・中国自動車道 津山ICから車で15分・院庄ICから車で20分